

当院での臨床研究に関する情報公開

研究課題名	IgA血管炎急性期スコアの検証、確立に向けた多施設共同観察研究
研究目的	IgA血管炎は全身の血管に炎症を起こす原因不明の疾患です。小児ではほとんどは軽症で自然に軽快しますが、一部に強い腹部症状を起こしたり、合併症として腎炎を起こしたりすることがあります。旭川医科大学小児科は以前これらの腹部症状や腎炎を早期に発見するシステムを開発しました。同科は更に他施設の症例も集めてスコアの信頼性を高める目的で本研究を開始しました。当院小児科は本研究に協力する施設として認定されたので研究に参加することとしました。
研究方法	対象患者様の診療情報（カルテ番号、生年月日、臨床経過、入院時血液検査データ）を当院電子カルテから抽出し、旭川医科大学の所定の様式で同大学に提出します。
研究の対象者	2017年1月1日～2020年12月31日までに当院小児科に入院したIgA血管炎（以前の名称：ヘノッホ・シェーンライン紫斑病、血管性紫斑病、アレルギー性紫斑病）の患者様
研究期間	2020年8月24日～2020年12月31日
個人情報の保護	旭川医科大学へ報告する臨床情報は患者番号を使用するため個人情報は秘匿され、個人に対する不利益は生じず、また安全性にも問題はありません。
倫理委員会の承認	本研究は当院倫理委員会での承認を受けています（承認番号：20-04号）
お問い合わせ	本研究に関する当院での分担研究担当者は小児科永井和重です。ご不明な点があればお気軽にご相談下さい。